

校訓 「正直 勤勉 愛語 進取」



笠野だより

笠野小学校だより 2月号

令和5年 1月30日

Tel 288-8651 Fax 288-8652

e-mail: kasano-es@m2.spacelan.ne.jp

落語から学ぶ

笠野小学校に赴任してから落語に触れる機会が多くなりました。これまではテレビでしか見たことがなかった私ですが、3回も生の落語を鑑賞することができました。1回目は11月にシグナスで開催された「小遊三・たい平 二人会」です。2回目は6年生の「おきらくご」です。七尾市在住の月亭方気さんの落語でした。そして3回目が先日（1月22日）、シグナスで行われた「つばた寄席」でした。月亭方正さんの落語も聞きました。これらの落語観賞から学んだことがたくさんありました。

まずは話し方です。人を引きつける話し方のヒントやコツを一つでも掴めればと思い、鑑賞していました。一人で何役もこなすわけですが、声のトーンやスピード、姿勢や表情などを微妙に変えながらその役になりきるわけです。また、「笑い」をとるためには「オチ」も必要ですが、ただ話すだけではなく、お客さんの反応を伺いながらの「間」や声の強弱、顔の向きや表情も大切だと感じました。

次に道具を扱う技です。落語で使う道具と言えば「扇子」と「手拭い」ですが、この2つしかない道具を、その技により様々な違った物に見せてくれます。そして話の巧みさとともに、楽しい落語の世界へと引き込まれていきます。

そして最後は堂々とした態度です。何度も何度も舞台に出てきた長年の経験によるものでしょうか。また、前号の話とも重なりますが、努力の積み重ねによる自信からくるものもあるのでしょうか。どれだけ場数を踏んできたかが重要なのかもしれません。

この場数という点では、笠野小の児童は大きなアドバンテージがあります。各学級の児童数が少ないために、授業中に人前で発表する機会が多くなります。順番に発表しても何回も自分の番が回ってきます。全校児童が集まっても32名で、異学年の前で発表する機会も多くあります。私が赴任した当初から「笠野小の児童は話すのが上手で、堂々としている子が多いなあ。」と感じてきた背景の一つはここにあるはずです。もちろん百名を越すような大勢の前で話す機会はほとんどなく、その点ではまだ慣れていないかもしれませんが、発表する場数では他校の児童に負けません。場数を踏んだ分、話すことに慣れ、上達も早いのでしょうか。落語家を目指すわけではありませんが、このアドバンテージを最大限に生かして、「話し上手な笠野っ子」をたくさん育てていきたいと思えます。



月亭方気さん

「おきらくご」より

校長 辰巳 勝

2月の生活目標「笠野っ子のよさを見つけよう」

友だちのよいところを見つけて「すてきだね。」「すごいね。」などと認めたり、ほめたりする声かけをできるように取り組みます。帰りの会で友だちのよいところを発表し合ったり、ナイスカードによいところを書いて掲示したりします。学校中が褒め言葉や認める言葉で溢れるようになるといいです。



英語スピーチコンテスト

1月21日（土）に津幡町文化会館（シグナス）で「津幡町英語スピーチコンテスト」が開催されました。本校からは4名の児童が参加して、自分のことや家族のことを英語で紹介しました。冬休み前から準備を始め、ALTの先生から発音や強弱の入れ方などを教わり、本番3日前からは校長室や職員室でも練習しました。その成果もあって、当日は、堂々と発表することができました。大勢の前で話すことが少ない笠野小の児童にとって、300名を超えるような観衆の前でスピーチしたことは、とても貴重な経験になりました。

My name is ~

6年生を送る会

今年は4名の6年生が卒業します。2月17日（金）に、これまでの感謝の気持ちを込めて「6年生を送る会」を開催します。今回もできるだけ密を避けるために体育館で行います。防寒対策・感染症対策をしてご来校ください。

日時 2月17日（金） 9：30～11：10

会場 本校体育館 ※玄関で受付をお願いします

※2月17日（金）は「ズック持ち帰り推奨デー」です。

学校でも案内しますが、持ち帰る場合はご家庭でもお子さまにお声かけください。